

### 3 - 4 信越地域の地震活動 (1980年10月～1981年3月)

Seismic Activity in the Shin-etsu District(October,1980-March,1981)

東京大学地震研究所

北信微小地震・地殻変動観測所

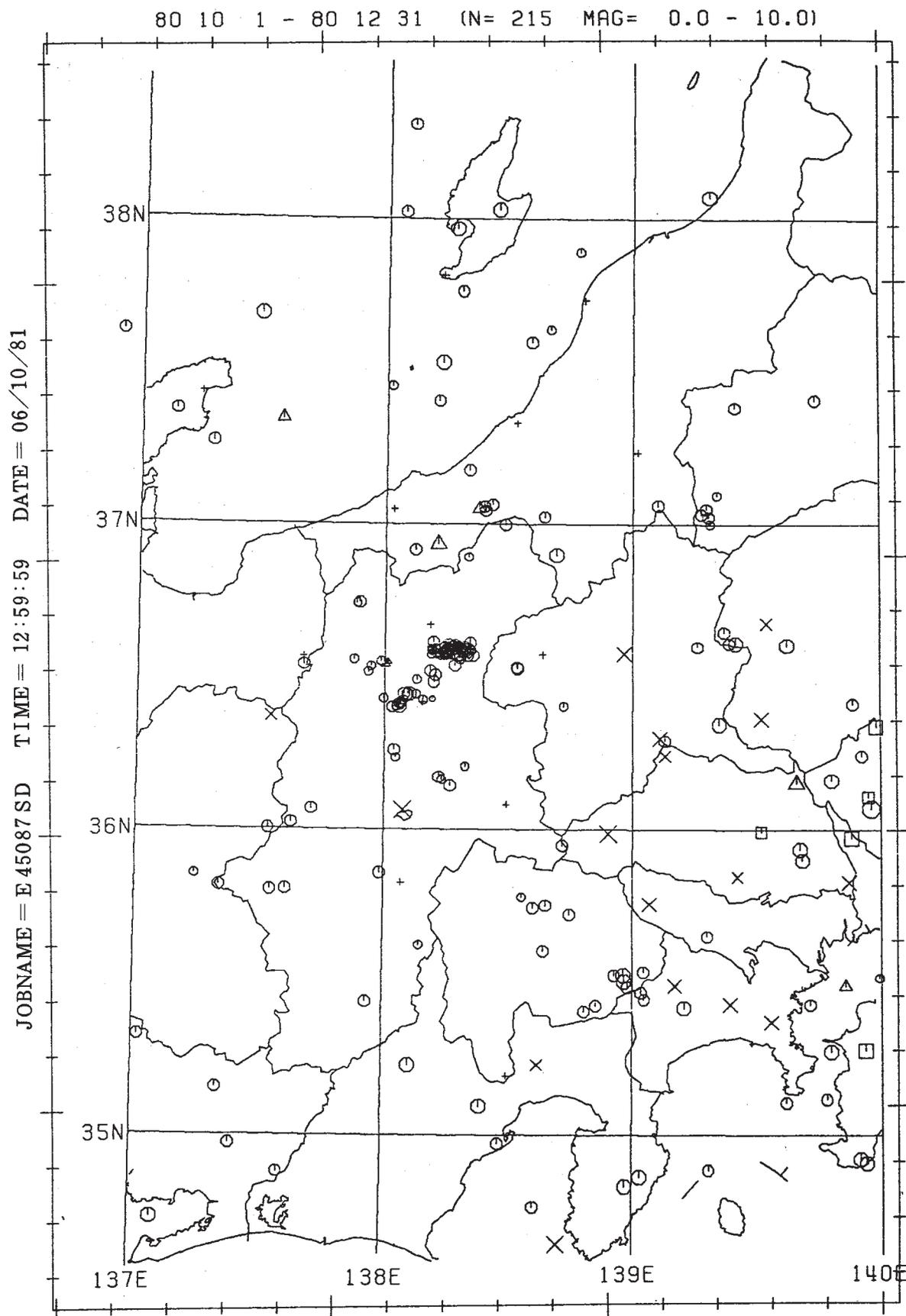
Earthquake Research Institute, University of Tokyo,  
Hokushin Observatory of Microearthquakes and Crustal Movement

第1図は、1980年10月～12月、第2図は、1981年1月～3月の北信観測所のデータ（富士川地殻変動観測所梅島観測点のデータを含む）により求められた微小地震の震央分布図である。

この期間には、1981年2月6日23時34分に新潟県南部（十日町西方）に $M_{JMA}=4.4$ の地震が発生し、1個の前震（6日23時04分、 $M \approx 2.0$ ）と十数個の余震を伴った他は、松代群発地震域の北部の微小地震活動が定常的に続いていることなど、全体の活動パターンに大きい変化はみられなかった。

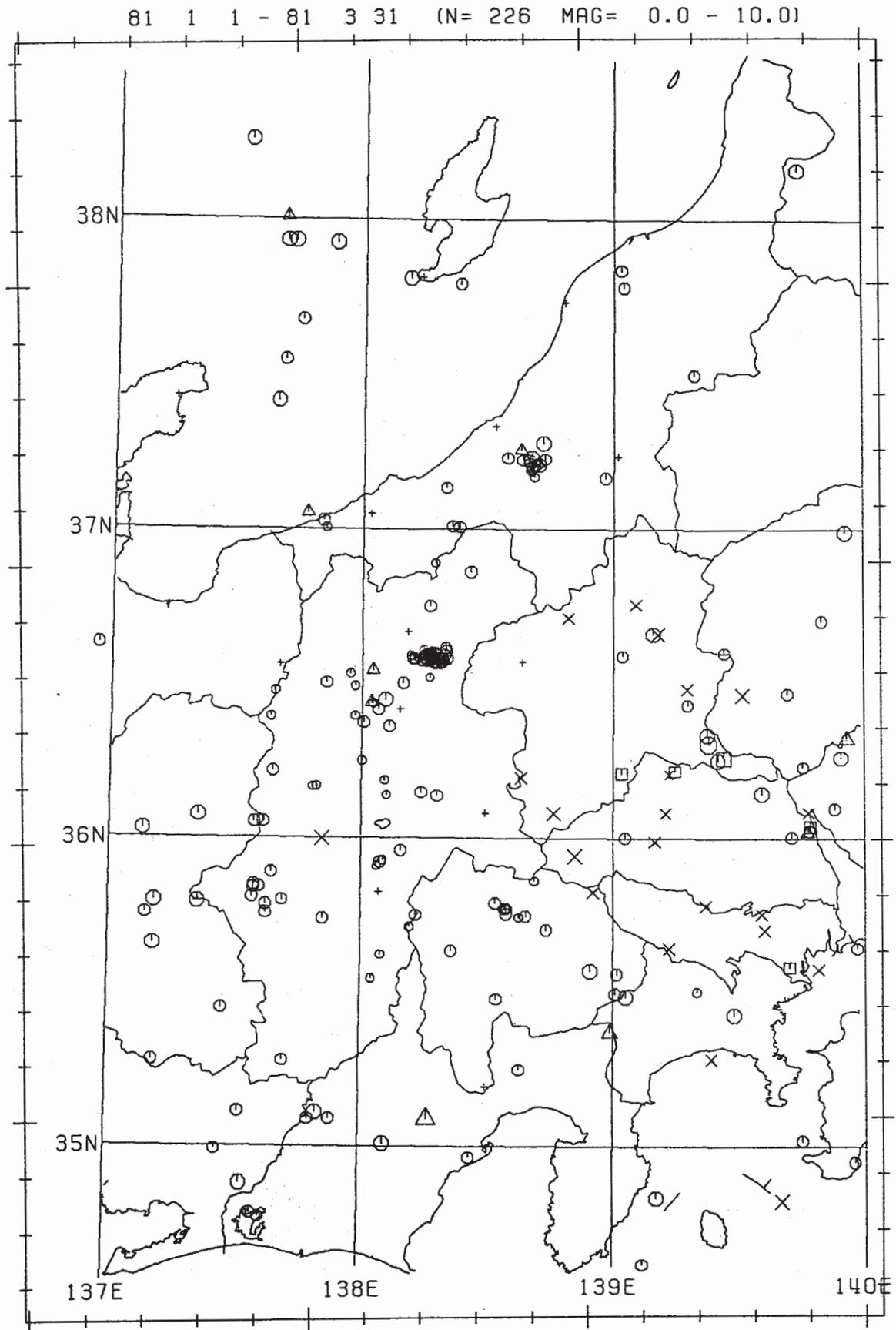
第3図は、昨年1年間の震央分布図であるが、この図でみると、前記の新潟県南部の地震の近傍は小さな空白域となっていたように見える。

なお、以上の震央分布図で、諏訪湖の北東方に集中しているものと、山梨県中部に集中しているものは、発生時刻がそれぞれ日中のある時刻に一定していることから発破であると推定される。



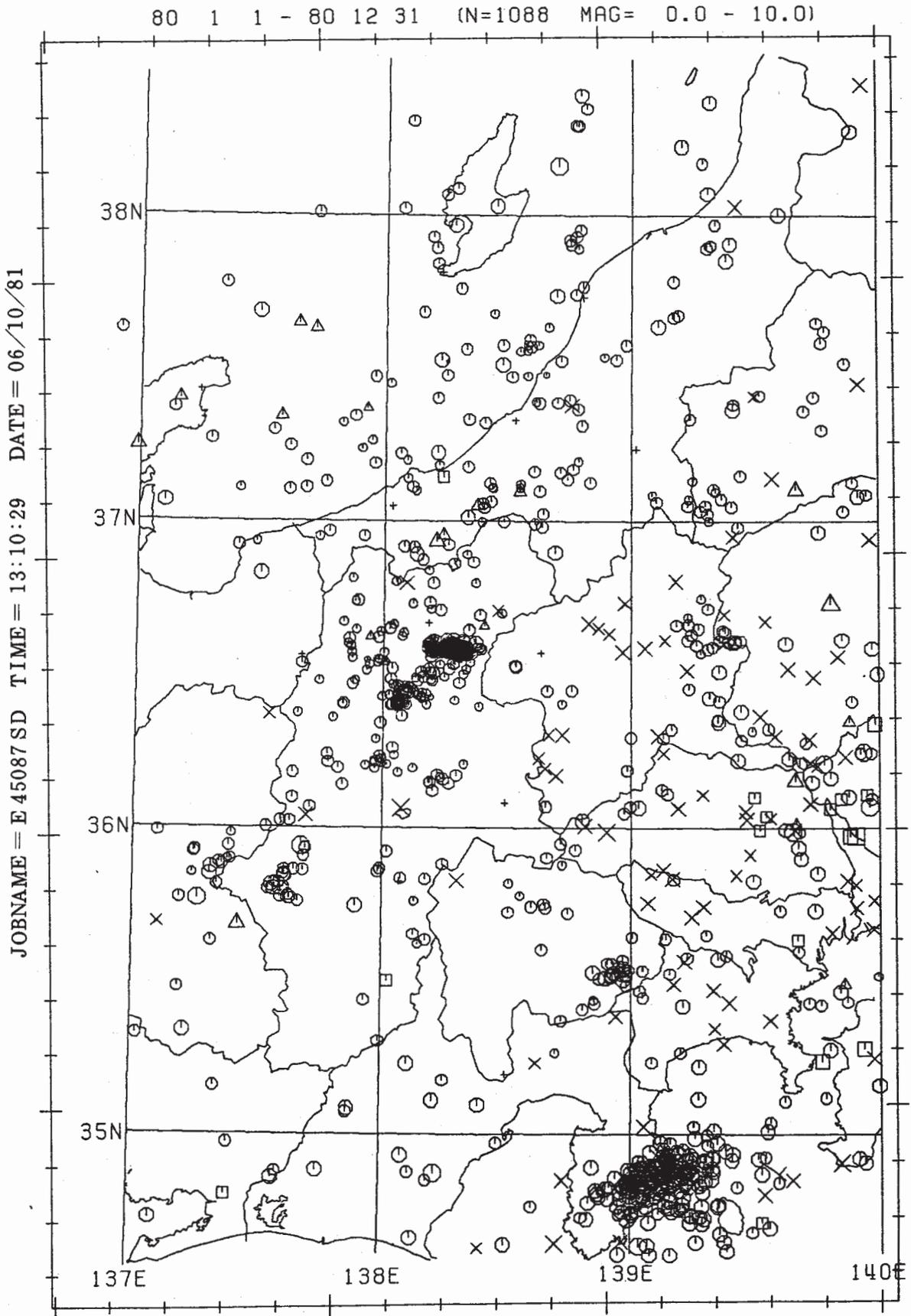
第1図 1980年10月～12月の震央分布図

Fig. 1 Distribution of epicenters in the Shin-etsu district, October - December, 1980.



第2図 1981年1月～3月の震央分布図

Fig. 2 Distribution of epicenters in the Shin-etsu district, January - March, 1981.



第3図 1980年1月～12月の震央分布図

Fig. 3 Distribution of epicenters in the Shin-etsu district, January - December, 1980.